

北海の白鳥

小川未明

青空文庫

上

昔、ある国に金持ちの王さまがありました。その御殿はたいそ
 うりっぱなもので、ぜいたくのあらんかぎりを尽くしていました。
 支那の宝玉や、印度の更紗や、交趾の焼き物や、その他、南
 海の底から取れたさんごなどで飾られていました。そしてその
 ほか、古酒のつぼが並べられてあり、美しい女は、花のように御
 殿にいて王さまのお相手をし、琴や、笛や、妙なる鳴り物の音
 と朗らかな歌の声は、夜となく昼となく、雲間に洩れたのであり
 ます。

おう
王さまは、まったく幸福こうふくでありました。かつて、不幸ふこうということをお知りしにならなかつたのです。ちようどそのころ、東ひがしの国くにから薬くすり売りが、「これは支那しなの崑崙山こんろんざんにあつた、不老不死ふろうふしの薬くすりでございます。」といつて、献けんじよう上じやうしたので、王おうさまはいままで、年としをとり死しをおそれていられたのに、幸さいわい不思議ふしぎな妙みやうや薬くを得えて、その憂うれいがなくなり、ますます幸福こうふくに日ひをお送おくりなされていきました。なんでもその薬くすりを奉まつつたものは、莫大ぼくだいのお金かねを頂いただいて、どこへかいつてしまつたそうです。

するとここに、怪あやしげなようすをしたものが、この国くににさまよつてきました。このものは、人間にんげんの運命うんめいを占うらつて、行いく末すえのことを語かたるのです。なんでもこのもの生しょうこく国こくは西蔵チベットだとい

うことでありますが、幾歳いくさいになるかわからないような人間にんげんで
 ありました。脊せいは低ひくく、目めの光ひかりは、きらきらと光ひかつていました。
 この占うらい者なのうわさが王おうさまの耳みみに達たつしますと、さつそくお召め
 しになりました。王おうさまは、にこにご笑わらつて、この怪あやしき男おとこをこ
 らんになったのです。そして、ご自身じしんの運命うんめいをこのものに見みて
 もらおうと仰おほせられたのです。
 「どうじゃ、朕ちんの運命うんめいを見みてもらおう。朕ちんほど、しあわせのも
 のは、またとこの世よの中なかにあるまいと思おもうが。」と仰おほせられまし
 た。
 怪あやしげなようすをした、脊せいの低ひくうらなし者しやは、王おうさまの足あしもとに
 平伏へいふくしていましたが、このとき、その黒くろい二つの目めばかりがき

らきらとする顔を上げました。

「恐れ入りますが、しばらくご猶予を願います。」と行って、大地にすわって深く念じ、長く瞑目してしました。

中

そのうちに日が暮れてしまいました。御殿の広い庭頭には、

かがり火がたかれました。その炎の影は、この怪しの占い者を照らし、空を焦がすかと思われるばかりに紅く見えました。

占い者は、じつと祈っていましたが、やがてその頭を上げて、占ったところを申しあげました。

「陛下は、これまで戦いに負けられたことがありません。なんでも思うままに、なしとげられてこられました。」と、占いはいつて、あるとき、王さまがわずかな兵で大軍を破られたこと、あるときは、ほとんど危うかったところを逃れられて逆に敵軍を陥れたこと、あるときは、重い病気にかかられたのを、神術を使う巫女が現れて、祈禱してなおしたことなどを委細申しあげました。

「なるほど、それに相違がない。汝の占いは怖ろしいほどよく当たるようだ。それで未来はどうじゃ。おそらく未来変わりがあるまい。」と、王さまは占いに問われました。

このとき、占いは空を仰ぎました。いつしか空には、金銀

の砂すなをまいたように、燦爛さんらんとして星ほしが輝かがやいていました。

「この地ちじょう上に住すむ人間にんげんの靈魂れいこんが、あの空そらの星ほしでございませ

。」と、占うらい者なはいった。

王おうさまは、夜よるの空そらを仰あおがれました。頭あたまの上うえには無数むすうの星ほしが輝かがやい

ていました。

「なるほど、たくさんな星ほしの数かずだ。大きいのも小さいちいのものもある。

大きなおおのは、それほどの徳とくを持もっている偉大いだいな人間にんげんにちがいな

かろう。帝王ていおうである朕ちんは、あの中うちのもつとも大きな星ほしがそれで

あろう。占うらい者なよ、そうではなからうか？」と、王おうさまはいわれ

ました。

占うらい者なは、うやうやしく頭あたまを下さげてから、顔かおをあげて申もうしまし

た。

「まことに恐れ多うございますが、陛下のは、あそこに見える紅あ色いろの小さな星ちいでございます。」と、占うらい者なは答こたえました。

「なに、朕ちんの頭あたまの上うへに見える大きな星ほしではないのか。そして、あの紅あかい哀かなしげな星ほしがそれであるのか。それはどういうわけじや。」と、王おうさまは問とわれました。

「いまは、陛下へいかは幸こう福ふくであらせられますが、今後こんご幾いく年ねんかの後のちに、強つよいものが出てきて天下てんかを取とるのでございます。それがあの星ほしに現あらわれています。思おもうに、そのものはまだ年とし若わかく、子こ供どもであります。北方ほつぽうの荒野こうやの中なかに、犬いぬや馬うまと駆かけています。そのものがやがて、大軍たいぐんを率ひきいて押おし寄よせてくるにちがいありません。

あの大きな星の光は、その男の運命を現すものでございませうと、占いは申しあげました。

これをお聞きになった、王さまは、深い憂いに沈まれました。いつしかかがり火は消えて、管弦の音も止んでしまったのでございませう。王さまの運命を見た占いは、いとまを告げて、いずこにか姿を消してしまいました。

下

王さまは、これまでのごとく幸福ではありませんでした。そして、花を見、月を見るにつけて、なんによらず、全盛の短い、

はかない運命を悲しまれたのであります。

この世の中のおもしろいこと、はなやかなことを見もし、また、しつくされた王さまは、どうか永久に平和な、静かな生活を送りたいと思われました。それを送るには、あまりに人間の生活は煩わしいと思われました。

ちようど、亜刺比亚から名高い魔法使いが入ってきました。

王さまは、このものをお召しになつて、どうか永久に静かな、平和な、そして、なにものにも煩わされず、美しい、自然のうちに生活することのできるようにしてくれたなら、たとえ、高山の頂の木でも、さびしい広野に咲く一本の花にでもいいから、自分になりたいものだと思はせられました。

この魔法使いは、王さまの願いを聞き入れました。彼は、王さまを、手に持つている一本のついで、ちよつとたたきさえすれば、思うような形に変えてしまうことができます。この魔法使いは、王さまをどんな姿に、変えてしまつたでありましようか。

「陛下は、この国も、富も、幸福も、お入り用ではございませんのですか。」と、最後に、魔法使いは王さまに伺いました。「朕は、もつとそれ以上のもの、永久の平和を求めているのじゃ。早く、朕を石になり、草になり、汝の魔法でもらいたい。」といわれました。

このとき魔法使いは、つえを上げて王さまをたたきますと、

不思議や王さまの姿が消え失せて、そこには一個のはまぐりが残り
ました。

魔法使いは、はまぐりを見て、また空を見ました。そして、
どこにか立ち去ってしまいました。二、三日たつと、空を一羽の
わしが、高らかに下を見おろしながら飛んできました。そして、
はまぐりを見つけますと、すぐに降りてきて、それをくわえ、北
を指して、はるかに飛んでゆきました。

わしは夜となく、昼となく、幾日か、北へ旅をしました。砂
漠を越え、山を越え、陸を越えて、青々とした海の上を飛んで
ゆきました。

北にゆくにしたがつて、海の水はますます青くなりました。空

の色いろはさえてきました。岩いわが鋭すくそびえて、荒波あらなみが打うち寄よせて
 いました。ちようどその上うへへきかかったわしは、くわえているは
 まぐりをはるか下したの岩いわに向むかって落おとしました。すると、はまぐ
 りは岩いわに当あたって微塵みじんに碎くだけました。同時どうじに雪ゆきのような白鳥はくちよう
 が、無数むすうに飛とびたつたのであります。

その日ひから、白鳥はくちようは海うみの上うへを舞まいはじめました。血ちよりも
 赤あかい、西にしの夕焼ゆうやけが、波なみの面おもてを彩いろどるころには、空そらを飛とぶ白鳥はくちよう
 は、遠とほい、故郷こきようにあこがれるもののごとく鳴ないたのです。そし
 て、永えい久きゆうに白鳥はくちようは、北海ほっかいの王おうとなつたのであります。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 一」講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷

1977（昭和52）年C第3刷

※表題は底本では、「北海《ほっかい》の白鳥《はくちよう》」
となっております。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：江村秀之

2013年10月6日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

北海の白鳥

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>